



絵本で楽しむ

6さいの女の子がはじめて
ベートーベンをきいたら

とあるピアノが
女の子のおうちにやってきた

4匹はおんがくたいに
なれるかな



「はじめてのオーケストラ」
佐渡裕／原作 はたこうしろう／絵
小学館



「メロディ
だいすきなわたしのピアノ」
くすのきしげのり／作 森谷明子／絵
ヤマハミュージックエンタテインメント
ホールディングス



「ブレーメンのおんがくたい」
グリム／原作 ハンス・フィッシャー／え
せたていじ／やく
福音館書店

図書館名	所在地	電話番号	図書館名	所在地	電話番号
中央	千住5-13-5	03-5813-3740	新田	新田2-2-2	03-3912-1767
伊興	伊興2-4-22	03-3857-8501	竹の塚	竹の塚2-25-17	03-3859-9966
梅田	梅田7-13-1	03-3840-4646	東和	東和3-12-9	03-3628-6203
興本	興野1-18-38	03-3889-0370	舎人	舎人1-3-26	03-3857-0771
江南	小台2-4-18	03-3913-0460	花畑	花畑4-16-8	03-3850-2601
江北	江北3-39-4	03-3890-4488	保塚	保塚町7-16	03-3858-1553
佐野	佐野2-43-5	03-3628-3275	やよい	中央本町3-15-1	03-3852-1433
鹿浜	鹿浜6-8-1	03-3857-6551			

かけはし

図書館は本と人とのかけはしです。

2023年1月

図書館だより

125号



12月6日 藝大・図書館コンサートにて
東京藝術大学の在学学生によるサクソフォン
四重奏の様子

音楽を 楽しむ本

中央図書館では、区制90周年を記念し、令和4年12月6日に東京藝術大学とコラボしたコンサートを初めて開催しました。これを機に、今号では音楽に親しんでいただけるよう、ピアノや吹奏楽など音楽を題材にした本を特集しました。さらに、東京藝術大学が区内の様々な場所で行っているコンサート活動の一部をご紹介します。本をきっかけに音楽への興味を深めてみませんか。

発行元

足立区立中央図書館

足立区千住5-13-5

TEL 03-5813-3740

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/bunka/library/index.html>



私の読書通帳から

No.13



ミュージアムグッズのチカラ
大澤夏美／著
国書刊行会

グッズ欲しさにミュージアムに出かけてみたくなること間違いなし。中には「買って一体どうするの?」と思わず突っ込みたくなるグッズもあるものの、そこにまた奥深さを感じます。グッズを「かわいい」「感動」

「マニアック」「学び」の4つのテーマ別に紹介する著者は、「オリジナルグッズには、博物館が伝えたいことを探るヒントが詰まっている」と言います。一品ずつ詳しくご紹介するスペースが無いのが残念です。

(文/足立区長 近藤やよい)





藝大の音色を足立の隅々へ

東京藝術大学では、千住キャンパスのサロンコンサートや区内のさまざまな施設でのアウトリーチ・コンサートを通じて、藝大の音色を区民の皆様にお届けしています。



2019年7月28日「弦楽四重奏コンサート」(東和地域学習センター)



2021年8月15日 黒岩航紀ピアノリサイタル「フランツ・リスト大解剖」(東京藝術大学千住キャンパス)

2022年11月3日に開催したオンライン音楽祭「アダチ・藝大・LIVE!」配信中



クラシックをこれから聴いてみたい方向け



有名な作曲家たちのエピソードや、コンサート鑑賞の基礎知識がマンガで学べます。読みやすく、気楽に読み進められる入門書です。

「マンガで楽しくわかるクラシック入門」

川瀬賢太郎／監修
ナツメ社



分かりやすいビジュアルで作曲家や名曲を丁寧に解説。初心者でもクラシックを基本から学べる一冊です。

「クラシック名曲はじめてガイド」

ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス／編
ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス



ヴィヴァルディの「四季」をはじめ、どこかで耳にしたことがある曲を24曲ご紹介。さらに、各曲のオススメ箇所を、付属CDで視聴できるため、気軽にクラシックを楽しめます。

「この名曲が凄すぎるクラシック劇的な旋律」

百田尚樹／著
PHP研究所



「買うときはジャケットの見た目で選びがち」と語る村上春樹。思わず集まったという100曲について語ります。

「古くて素敵なクラシック・レコードたち」

村上春樹／著
文藝春秋

音楽をテーマにした小説



「このミステリーがすごい！」大賞大賞受賞作品

「さよならドビュッシー」

中山七里／著
宝島社

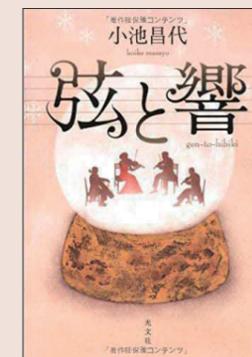
ピアニストを目指している16歳の遙は、突然の火事に巻き込まれ、祖父と従姉妹を失ってしまう。遙も全身に大火傷を負ったが、それでもなおピアニストになることを誓い、レッスンに励む。しかし、遙の周りでは、不吉なことが次々と起こっていきます。音楽とミステリーを一度に楽しめる一冊です。



直木賞、本屋大賞受賞作。文字から音が伝わるような重厚な描写が話題になりました。

「蜜蜂と遠雷」

恩田陸／著
幻冬舎



30年続いた鹿間四重奏団の終わりが近づいている。演者、記者、観客、ステージマネージャー、違う場所で生き、それぞれの生活を送る人たちがカルテットのラストコンサートという空間で交わります。不思議と胸が暖くなるお話。

「弦と響」

小池昌代／著
光文社

ティーンズ向け

音楽と部活動がテーマの青春小説

アニメ化!



京都府宇治市の高校を舞台にした吹奏楽部の物語。みんなと仲良く部活を行うか、コンクールに向けて部員同士で競争していくかなど、部員同士が葛藤する様子が描かれています。

「響け! ユーフォニアム」

武田綾乃／著
宝島社

イチ推し!!



「船に乗れ!」

藤谷治／著
小学館

津島サトルは、音楽一家に生まれた若きチェリスト。英才教育を受け将来を有望視されるが、第一志望の芸高受験に失敗してしまう。「あの頃の僕は、もういない」物悲しい一文から始まり、大人の彼が自身の青春時代を振り返っていく物語です。大人も学生も引き込まれる一冊です。

元神童で自称ニート臨時教員・柏木が、女子しかいなかった合唱部の顧問になることに。真面目な女子部員たちと美人な柏木目当てで入部した男子部員は対立します。険悪ながらも、練習に打ち込み始めたコンクールの課題曲は「手紙～拝啓 十五の君へ～」。柏木は曲への理解を深めるために、ある宿題を出します。

「くちびるに歌を」

中田永一／著
小学館

